

事業報告書

Rika Kindergarten

☆ 事業状況



近年、共働き世帯が主流にある中、施設利用者の低年齢化に歯止めがかかる状況です。認定こども園として受け入れられる定員に限度がある為、利用者のニーズにどう対応できるかが課題となっています。入園希望者の数が年々減っている状況ではありますが、今年度当園の経営は比較的安定しており大きな事故や問題もなく経過しておりますことは、保護者及び関係者各位のご協力によるものと感謝申し上げます。今後とも当園の教育・保育活動を求める皆様の要望に応えるよう、優秀で勤勉な教職員共々信頼される教育活動に邁進致して参ります。

☆ 令和 6 年度に実施した活動についての検証は、以下の通りです。

- 「教育の梨花」を意識した教育活動に徹するよう、教職員の資質向上に努めることを進めるべく、「学びに向かい合う力」の育成を念頭に活動したことにより、「学んだことを生かそうとする、学びに向かい合う力」「生活に生きて働く知識や技能」「未知の状況にも対応出来る思考力、判断力、表現力」等の「生きる力」の育成について進めることができました。
- 「できる子」を念頭に、「何が出来るようになるか」一人一人の個性を尊重しつつ具体的に実践し「できた！」まで到達するよう進捗状況を確認し、できる子を褒めてお手本にすることで多くの刺激を与えることが必要であるとの考え方の基、目標として、逆上がり・縄跳び100回・開脚飛び越し・倒立ブリッジ・名前を書く・3m泳ぐ・鍵盤ハーモニカ（ハローソング・ふじの山）・英語ソング（ハローソング・ABC・16の気持ち・さんぽ・キラキラ星 他）・手話ソングによる脳刺激 等を実施しました。結果として、概ね評価できるまで達したと考えておりますが、更に進めて参ります。
- 「礼儀正しい子を形に・・・」を念頭に、当園の教育特徴の一つである作法教育について、「生きる作法を身につける」ことを力点に、具体的に礼儀正しい子に育てるべく指導を行いました。
各場面に於いて「ハイ！」の返事を「正確に」「元気よく」発することから、正しい姿勢やおじぎの作法を身につけ、何時でも実行できるよう求めましたが、継続的な指導を要します。
- 優しさは信頼関係の証と考え、まずは教職員と子どもたちとの信頼関係を高め、「先生大好き」と言われるよう、一層優しく・丁寧に接するよう奨励し、子ども達には、「ありがとう」「ごめんね」が言えるように社会でのルールを指導し、マナーが理解できるよう致しました。一定の効果を認めますが、継続して、「やさしい子」に注目した指導を行います。
- 教育活動を通し、我が子の成長を実感できる行事について、内容を吟味しつつ進めております。この際目標として、「やればできる！」を教職員の自信を糧に実践し、「できた」ことによる自信に繋げるよう実践しました。更に行事のあり得方を検討し、当初の目的を達成すべく考えて参ります。
- 引き続き、「たくましさづくり」「優しい子に育てる」「マーチングの完成度を高め維持する」等、継続し指導の強化に務めておりますが、限りない目標であると考え更なる向上を求めます。
- 以上の教育活動に加え、職員の確保、質の良い教育・保育を行う為の研修へ積極的に参加し人材教育をより一層充実させていきます。引き続き、教育活動の充実と安定経営を意識した活動に努めて参ります。

令和 7 年 5 月 2 日

学校法人 鶩巣学園 梨花幼稚園
幼保連携型認定こども園
園長 高瀬 紗代